

20日 庄内たがわ農協総代会 米穀販売高が115%増

合併30年目となる庄内たがわ農協（海藤喜久男組合長）の第30回通常総代会が6月20日（金）、いろいろ火の里なの花ホール（三川町）で開かれます。

在庫米の不足から、平成6年産米の価格高騰で、米穀販売高は前年比115%伸びです。JA庄内たがわは令和6年度、本支所施設

の再編を進め、令和7年2月に、新余目支所と立川支所を統合して「北部支所」に、4月に櫛引支所と朝日支所の機能再編で「南部支所」を立ち上げました。

農林中金の巨額赤字で系統出資の増加

外国債券の運用失敗

で、農林中央金庫の昨年度1年間の赤字は、過去最大の1兆8000億円余りとなりました。

資本増強では、1兆4000億円規模、運用する資産入れ替えでは2024年9月30日に、既往永久劣後ローン7169億円の償還と、新たな後配出資7360億円増資を決定

しました。JA庄内たがわとJA鶴岡の増資は、下表のとおりです。

協友を悼む

故・板垣久喜さん

「功成り名を遂げて身を退くは天の道なり」

老子

人は、功名を得た後に、隠退するのが理にかなう。

中国の詩人老子が詠

んだ成功の栄冠です。

これが貴方の人生であつたと思うのです。

昭和41年（1966）、

庄内農業高校を卒業すると、旧長沼農協畜産

技術員として採用され、農協合併と同時に営農部畜産課養豚部会担当

となつた。

私は、資材課で一緒であつた。

農協は稲作プラス畜産に力を入れていた。

貴方は熱血漢で、私も飼料係として畜舎を

巡回したこともあつた。

私は、「不況を立て直すのは出稼が一番」と

言つて苦言を言われた事もあつた。

幸い2度全国養豚共進会に県代表として出

品され、養豚部会最盛期であつた。畜産経営

口座をつくり、経営指

鈴木重雄（八色木）

導をされた。

平成6年（1994）、

庄内たがわ農協合併事務局に出向し、企画管

理課に在籍し、33年間

農協職員として勤務さ

れた。

長沼支所に勤務した

とき、長沼温泉ほっぼ

の湯設立に向けて盡力

され、藤島町長に願わ

れて支配人となり、現

在のほっぼの湯がある。

彼は思いつけば猪突

猛進である。

地元上新田に発明家

斎藤外市顕彰碑の建立

や、旧長沼小学校の旧

校舎の文化施設はすば

らしく、見学を勧めま

す。

彼の奨めるマコモダ

ケのバター焼きは逸品

である。

彼は協友会記念誌に、

「ゆつくりしたら晴耕

雨読を楽しみたい。」と

書いていた。

これからは仏門に入り、

冥土の世界で心安らかに

合掌

庄内たがわ農協 合併前との比較(単位:千円)

	基準年1993年 平成5年度	2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	前年度との対比	基準年との対比	
正組合員数（人）	16,876	10,987	10,665	10,338	96.9%	61.3%	正組合員数（人）
職員数（人）	1,123	384	359	352	98.1%	31.3%	職員数（人）
資産	117,589,340	127,102,351	130,520,330	133,217,232	102.1%	113.3%	資産
負債	111,618,080	117,831,330	121,368,123	124,485,411	102.6%	111.5%	負債
資本(純資産)	5,971,260	9,271,021	9,152,207	8,731,820	95.4%	146.2%	資本(純資産)
当期剰余金	93,323	△261,855	197,896	225,510	114.0%	241.6%	当期剰余金
貯金	96,633,096	112,235,064	115,317,411	117,482,647	101.9%	121.6%	貯金
貸出金	36,394,244	32,858,273	32,957,356	34,632,172	105.1%	95.2%	貸出金
長期共済保有高	665,528,140	413,941,034	398,848,684	386,155,032	96.8%	58.0%	長期共済保有高
購買	19,815,583	3,844,257	3,530,498	3,422,070	96.9%	17.3%	購買
販売	30,276,797	12,714,912	12,784,904	14,505,611	113.5%	47.9%	販売
(米穀)	24,149,280	10,168,842	10,513,397	12,109,236	115.2%	50.1%	(米穀)
(園特)	3,263,811	1,632,240	1,479,279	1,699,390	114.9%	52.1%	(園特)
(畜産)	2,863,706	862,868	734,988	631,068	85.9%	22.0%	(畜産)
(産直店舗)		50,961	57,238	65,916	115.2%	-	(産直店舗)
自己資本比率		14.20%	13.88%	13.63%			自己資本比率

合併は1995年（平7）。職員数は合併直前との比較。臨時職員含む。

(株)あいとサービス2014年8月1日設立。燃料・葬祭が10月1日から、農機・車両が1月1日から事業開始

各農協の出資金等の比較

	JA庄内たがわ	JA鶴岡	JAあまるめ
正1人当出資金	349,657円	292,712円	813,836円
正1戸当出資金	454,972円	440,850円	997,465円
正1戸当販売額	1,825,753円	3,531,668円	2,336,854円
正1戸当購買額	430,720円	1,858,030円	1,285,587円
自己資本比率	13.63%	15.45%	17.06%
出資配当		1.0%	1.0%
特別配当			

※JA庄内たがわの購買額は(株)あいとサービス除く

※JAあまるめの購買額はコープ除く。農機含む

(2025年度総代会・総会資料より)

農林中央金庫に対する系統出資の状況(単位:千円)

	当期首残高	当期増加額	当期末残高
JA庄内たがわ	4,983,751	1,729,000	6,712,751
JA鶴岡	2,763,319	808,000	3,571,319

225年総代会資料から

紫陽花

紫陽花（しようか）

城貞（藤の花）

鳥葩庭除至歡加
百轉千声燕子譁
細雨如糸沾服湿
錢春華綻紫陽花

鳥葩庭除至歡加わる
百轉千声燕子譁し
細雨糸の如し服を沾して湿す
錢春華綻ぶ紫陽花

晩春になり鳥や花が庭に多く見られるようになりますますこの上ない喜びで一杯である。燕の子供が餌を求めて騒がしい声を上げてにぎやかである。

糸のような雨がしとしと降り服を濡らす。春の花（梅桜桃）も見られなくなり去りゆく春を送りやがてアジサイの花が綻び始めた。



紫陽花アジサイ。葩はな。庭除庭。至歡この上ないよろこび。加さかんになる。百轉千声百千と大きい数で多いことを言う。さわがしく。燕子ツバメの子。譁さわがしい。細雨霧雨。沾ぬれる。湿しめる。錢春去りゆく春を送る。華はな。綻花が咲く。

産直センター田植え交流会

庄内産直センターと横浜の4つの保育園との田植え交流会が2週に渡って行われました。

5月31日には、朝日の大網地区に園児35人と、保育士・保護者22

人が訪れ、山あいの人ぼで、生産者とペアになり田植えを行いました。秋には稲刈り交流会が予定されています。



日下部勇一の波瀾万丈人生が本に『若勢、印刷工そして議員41年』

昭和49年（1974）から41年間、旧余目町と庄内町の議員を務めた日下部勇一さんが、

波瀾万丈の人生を本にまとめました。

目次から拾うと、「父の死で貧乏な生活

あなたの声を届けます

氏名
連絡先
切り抜いて、共産党市議団や民報配布者にお渡しください

波瀾万丈

若勢印刷工そして議員41年



政治のために嘘はつかない。
町民のために声を荒げた。

日下部 勇一 著

が始まる 自転車買えず」

「若勢をしながら余目高校定時制入学 弁論大会で熱弁」

「富士印刷 初めてのストライキ決行」

「勇一は闘いの中 恋愛中」

安定供給の生産を



いやしく難しくなってきた、米価は。古米はまだしも、古古米と言う米を買うためにあんなに並ぶんだから。これに大臣は、必要なら21年産も出すと言っているが、これにも並ぶんでしょうか。

▲24年産の普通の米に徳用米と備蓄米が2段階です。3段階？今はこんな風に値段に差がついているんじゃないですか。してテレビには、備蓄米は「売り切れ」の看板が。

▲米を作って米が食えねーとは、農家の時給が10円という事態の悲痛な声。そんな生産に對し、これだけ安い物が期待されていたという事に、国はどう対処するのか。早い話、今の値段では作る方も消費する方も食っていけないという事なんだからさ。さて安定供給の

「余目町議補選に立候補 母親猛反対し寝込む」・・・

巻頭に、元町長の奥山俊一氏と元議長の池田勝彦氏が寄せています。（自費出版1500円）問い合わせ 党鶴岡地区22・3313

為の委員会を作ったどんな話になるのやら。

▲備蓄米の最安値も歓迎されているとは、普通のコメには手が出ないという人もいるのかもしれないって事。だから、備蓄米が底をついたらその方たちに安定供給は出来るの？

▲さて、コメを作る方だが、こっちは青田で「売り切れ」だって。

2回収穫できる地方があると聞くが、なにせ今年は、作付け制限をされているんだから。でも、今年の収穫に政府も生産者も消費者も願う処は、天候に恵まれて良質で豊作となる収穫です。

▲去年、米が足りない話が出た当時、もうすぐ新米が出るから・と言っていた政府。今がその時期なのに、「聖域なし」と言って、外米を入れたい動きだ。許せない。以前のような安い米価に戻ったら、コメ農家はもう生産できない。（石川）